



みどり
水+里 ネットしんじょう

理事長 あいさつ



新庄土地改良区
理事長 佐藤 喜代志

区報の発刊にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。組合員の皆様には、日頃より当改良区の運営、事業の推進につきまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。令和5年度の当区の農業用水供給は、異常な高温少雨の影響を受けたものとなりました。過去初めて8月から9月上旬まで休み無く連続した24時間通水が行われました。組合員の皆様には、常日頃より節水節電へご協力いただきながら、各ほ場へ円滑に用水が行き渡るようご努力いただきましたことに誠に感謝申し上げます。今後も頻発する異常気象に適切に対応し、より効率的な通水体制の構築に取り組んでまいります。

現在の当土地改良区の事業進捗状況について二点紹介致します。一点目は基幹水利施設更新事業です。現在、国営と県営二つの事業で施設更新が行えるよう各関係機関と協議を進めております。国営事業については、清水揚水機場をはじめとした国営施設の整備構想を策定する地域整備方向検討調査が実施されております。事業の目的は、国営事業で造成した施設の集約・再編を伴う整備を行い維持管理費の低減を図ることです。令和6年度以降、地域整備方向検討調査、地区調査、全体実施設計を経て、令和12年度より国営事業が実施予定となっております。

県営事業については、県営基幹水利施設ストックマネジメント事業が今年6年度より事業実施となります。これまでの機能診断の結果、対象箇所は早急な整備が必要な清水揚水機場ポンプ設備と中央管理センター水管理システムです。国営2期事業着工までの間、安定した用水供給と円滑な事業推進を行ってまいります。

また、国営施設の更新に先立ち、令和5年8月に小水力発電施設が本格稼働致しました。特集ページでご紹介いたしますが、令和5年度売電収入は4,800千円となりました。このように用水を確保しながら売電収入が得られるのもこれまで国営事業をはじめ小水力発電事業に至るまで事業推進にご尽力いただきました各関係機関の皆様の絶大なるお力添えのおかげです。改めて造成した施設による恩恵に感謝し、適切な維持管理と安定した農業用水供給を行ってまいります。

上述したように、当区としても限りある用水を効率良く供給することに尽力してまいります。役員、総代、職員一丸となり、強い緊張感を持ち各事業の適切な推進、事業予算確保、施設の維持管理に万全を期してまいります。本年が皆様にとってますます繁栄する一年になることをご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

